

人体解剖学実習

責任者名：高橋 富久

学期：後期

対象学年：2年

授業形式等：実習

◆担当教員

高橋 富久(解剖学 I 教授)

二宮 禎(解剖学 I 准教授)

藤原 恭子(解剖学 I 准教授)

大橋 晶子(解剖学 I 助教)

◆一般目標 (GIO)

人体を解剖することによって人体の正常構造を理解し、知識として集約する。単に解剖学用語を暗記するのではなく、剖出と観察という作業を繰り返し、3次元的に構築された人体の複雑な構造を目の当たりにし、そこから確かな観察力を修得する。また、ご遺体を通して生命の尊厳、敬意や他人への思いやりを学び、将来、確かな医療人となるため人格を育む。

◆到達目標 (SBOs)

- ・解剖学の授業から得た知識を集約できる。
- ・人体諸器官の正常構造について説明できる。
- ・正確な解剖学用語を用いることができる。
- ・歯科医師となるための志をもつことができる。

◆評価方法

- ・平常試験の点数(50%)と実習点(50%)で評価する。
- ・平常試験は、9月10日(木)、10月15日(木)および11月19日(木)の全3回実施する。試験範囲(実習項目)については後日連絡するが、実習前の知識および実習内容の理解度を評価する。
- ・実習点は、提出物と実習中に行う口頭試問および実習に取り組む姿勢が点数として勘案される。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
高橋 富久	火曜日 8:00~9:00 解剖学第 I 講座研究室		

◆授業の方法

- ・実習は、奇数班(A)と偶数班(B)に分かれて行う。以下の注意事項を良く読んで実習に臨むこと。
- ・実習日に該当しない班は、在宅での課題学習を行う。課題の内容は、実習日の9:00に配信するので、必ず当日の期限までに成果物を提出すること。なお、提出方法については後日連絡する。
- ・自らの体を無報酬・無条件で献体して下さった尊い故人の志に礼を尽くすこと。御遺体に対しては常に感謝し「解剖させていただく」という謙虚な姿勢で実習に臨むこと。

・実習は全出席を原則としているため、如何なる理由があろうとも欠席は認めない。各自、健康管理には十分に留意すること。欠席届(病欠)の提出があっても補完実習は行わない。忌引き等の止むを得ない理由で欠席する/した場合は、担当教員に必ず連絡して指示を受けること。

・実習中は休憩時間以外の身勝手な休息は認めない。実習中の無用な私語は慎むこと。実習室での標本等の写真撮影(携帯電話や iPad 等による撮影も含む)、飲食物の持ち込みと飲食(ガムや飴)、実習とは関係のない雑誌等の持ち込み、標本等の持ち出しは禁止する。

・実習中は白衣(肌の露出を避けるためにも長袖の白衣を推奨する)を着用し、名札を左肩につけること。実習初日にマスク、手袋、帽子、フェイスシールドを配布する。その他、防護用のメガネ等が必要な者は、各自で用意すること。

・第1回および第3回平常試験(9月10日および11月19日)は、お茶の水校舎 C303 と C502 で実施する。また、第2回平常試験(10月15日)は、第3講堂と大講堂で実施する。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	人体解剖学実習要点と指針	大谷 修 他	南江堂	2011
参考書	グレイ解剖学アトラス原著第3版	Richard L Drake 他	エルゼビア・ジャパン	2016
参考書	ネッター解剖学アトラス原著第6版	Frank H. Netter	南江堂	2016
参考書	解剖学カラーアトラス第8版	Johannes W. Rohen	医学書院	2016
参考書	人体解剖カラーアトラス第6版	Peter H. Abrahams	南江堂	2016

◆DP・CP

[DP 3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP 5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[CP 1]歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP 3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP 4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず毎回、実習書を良く読んで、剖出と観察すべき項目について十分に理解して実習に臨むこと。特に前期で学んだ事項が観察の中心となるため、前期の授業内容を十分に復習することが肝心である。実習後は毎回観察した事項について前期に使用した教科書や参考書等で再度確認し、知識とすること。参考書にあげたアトラスを利用すると効率よく学習できる。

◆準備学習時間

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習をすること。

◆全学年を通しての関連教科

神経（2年前期）

運動器（2年前期）

脈管・感覚器（2年前期）

内臓（2年前期）

組織学（2年前期）

組織学実習（2年前期）

生理学（2年前期）

口腔組織学（2年後期）

発生学（2年後期）

発生学・口腔組織学実習（2年後期）

口腔生理学（2年後期）

生理学・口腔生理学実習（2年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	A B	9.10	1 ～ 6	第1回平常試験 第1回平常試験の 解説	・平常試験の解説によって実習前の理解度の確認と習熟を図る。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
2	A	9.17	1 ～ 6	1. 背面の体表と浅層 1)背面の体表と骨格の観察 2)背面の皮はぎ 3)背面浅層 4)殿部 (教) pp.33-38 2. 固有背筋と後頭	・背面体表で目印となる構造を明示できる。 ・皮膚の構造について説明できる。 ・背面浅層の筋の種類、走行、機能および神経支配について説明できる。 ・殿部の筋の種類、走行、機能および神経支配について説明できる。 ・殿部の主要な血管の種類と走行に	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 C-3-1)身体の部位と方向用語

		<p>下筋</p> <p>1)胸腰筋膜と浅背筋</p> <p>2)固有背筋</p> <p>3)後頭下筋 (教) pp.173-178</p> <p>3.頸・胸・腹部の浅層と中間層、上腕の浅層</p> <p>1)前面の体表の観察</p> <p>2)前面の皮はぎ</p> <p>3)浅層と中間層 (教) pp.40-46 pp.47-52</p> <p>4. 上腕, 前腕, 手</p> <p>1)上腕屈側と伸側の筋と神経</p> <p>2)上腕動脈と正中神経</p> <p>3)前腕屈側と伸側</p> <p>4)手掌と手背 (教) pp.62-76</p> <p>5. 大腿, 下腿, 足</p> <p>1)体表の観察</p> <p>2)下肢の皮はぎ</p> <p>3)大腿前・内側・後区画</p> <p>4)膝窩と下腿後方区画</p> <p>5)下腿の前方・外側区画</p> <p>6)足背と足底 (教) pp. 87-110</p>	<p>ついて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胸腰筋膜について説明できる。 ・浅背筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・固有背筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・背面深層の血管と神経の種類について説明できる。 ・後頭下筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・後頭下の血管の種類と走行について説明できる。 ・頸・胸・腹部の体表において目印となる構造を明示できる。 ・頸・胸・腹部の浅層と中間層の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・上腕において体表から触知できる構造が明示できる。 ・上腕と腋窩の血管の種類と走行について説明できる。 ・上腕屈側・伸側の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・肩甲骨背面にみられる筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・前腕と手の表層で目印となる構造を明示できる。 ・前腕屈側・伸側と手掌浅層・手背の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・大腿・下腿・足の体表で目印となる構造を明示できる。 ・大腿皮下の血管と神経の走行について説明できる。 ・大腿前区画・内側区画・後区画の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・大腿三角をつくる筋について説明できる。 ・大腿三角にみられる血管と神経について説明できる。 		
--	--	---	--	--	--

					<ul style="list-style-type: none"> ・内転筋管をつくる筋について説明できる。 ・内転筋管を通る血管と神経について説明できる。 ・膝窩と下腿後区画の筋の種類，走行，機能および神経支配について説明できる。 ・膝窩と下腿後区画にみられる血管と神経について説明できる。 		
2	B	9.17	1 ～ 6	課題 1B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能
3	A	9.24	1 ～ 6	課題 1A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能
3	B	9.24	1 ～ 6	1. 背面の体表と浅層 1)背面の体表と骨格の観察 2)背面の皮はぎ 3)背面浅層 4)殿部 (教) pp.33-38 2. 固有背筋と後頭下筋 1)胸腰筋膜と浅背筋 2)固有背筋	<ul style="list-style-type: none"> ・背面体表で目印となる構造を明示できる。 ・皮膚の構造について説明できる。 ・背面浅層の筋の種類，走行，機能および神経支配について説明できる。 ・殿部の筋の種類，走行，機能および神経支配について説明できる。 ・殿部の主要な血管の種類と走行について説明できる。 ・胸腰筋膜について説明できる。 ・浅背筋の種類，走行，機能および神経支配について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能

		<p>3)後頭下筋 (教) pp.173-178</p> <p>3.頸・胸・腹部の浅層と中間層、上腕の浅層</p> <p>1)前面の体表の観察</p> <p>2)前面の皮はぎ</p> <p>3)浅層と中間層 (教) pp.40-46 pp.47-52</p> <p>4. 上腕, 前腕, 手</p> <p>1)上腕屈側と伸側の筋と神経</p> <p>2)上腕動脈と正中神経</p> <p>3)前腕屈側と伸側</p> <p>4)手掌と手背 (教) pp.62-76</p> <p>5. 大腿, 下腿, 足</p> <p>1)体表の観察</p> <p>2)下肢の皮はぎ</p> <p>3)大腿前・内側・後区画</p> <p>4)膝窩と下腿後方区画</p> <p>5)下腿の前方・外側区画</p> <p>6)足背と足底 (教) pp. 87-110</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・固有背筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・背面深層の血管と神経の種類について説明できる。 ・後頭下筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・後頭下の血管の種類と走行について説明できる。 ・頸・胸・腹部の体表において目印となる構造を明示できる。 ・頸・胸・腹部の浅層と中間層の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・上腕において体表から触知できる構造が明示できる。 ・上腕と腋窩の血管の種類と走行について説明できる。 ・上腕屈側・伸側の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・肩甲骨背面にみられる筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・前腕と手の表層で目印となる構造を明示できる。 ・前腕屈側・伸側と手掌浅層・手背の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・大腿・下腿・足の体表で目印となる構造を明示できる。 ・大腿皮下の血管と神経の走行について説明できる。 ・大腿前区画・内側区画・後区画の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・大腿三角をつくる筋について説明できる。 ・大腿三角にみられる血管と神経について説明できる。 ・内転筋管をつくる筋について説明できる。 ・内転筋管を通る血管と神経について説明できる。 		
--	--	---	---	--	--

					<ul style="list-style-type: none"> ・膝窩と下腿後区画の筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・膝窩と下腿後区画にみられる血管と神経について説明できる。 		
4	A	10.1	1 ～ 6	6. 腋窩と鎖骨下の深層 1) 腋窩 2) 鎖骨の切断 3) 鎖骨下動・静脈 (教) pp.53-61 7. 腹壁と腹部内臓の位置 1) 外腹斜筋 2) 内腹斜筋と腹横筋 3) 腹直筋 4) 腹部内臓 5) 骨盤内臓 (教) pp.111-120 8. 前胸壁, 胸膜腔, 肺 1) 胸腔を開く 2) 前胸壁と胸膜 3) 肺の観察 (教) pp.121-126 9. 顔の浅層と頸部の深層 1) 表情筋と顔面神経 2) 耳下腺 3) 外頸動脈の枝と頭部の静脈 4) 顎下三角とオトガイ下三角 (教) pp.227-234	<ul style="list-style-type: none"> ・鎖骨下動・静脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・鎖骨と胸骨あるいは肩甲骨の連結について説明できる。 ・腋窩動・静脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・腕神経叢の構成と機能について説明できる。 ・肩甲骨前面にみられる筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・腹壁を構成する筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・腹部内臓の種類と部位について説明できる。 ・骨盤内臓の種類と部位について説明できる。 ・前胸壁にみられる筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・前胸壁にみられる血管の種類と走行について説明できる。 ・縦隔にみられる神経, 脈管, 内臓について説明できる。 ・胸膜の分布について説明できる。 ・肺と気管支の位置と形態について説明できる。 ・顔面の表層において目印となる構造を明示できる。 ・表情筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・耳下腺の部位と形態, さらに耳下腺管の走行について説明できる。 ・耳下腺の神経支配について説明できる。 ・外頸動脈の枝の種類と走行につい 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4) 身体を構成する組織と器官 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語

					<p>て説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭部の主要な静脈の種類と走行について説明できる。 ・顎下三角とオトガイ下三角をつくる筋の種類，走行および神経支配について説明できる。 		
4	B	10.1	1 ～ 6	課題 2B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
5	A	10.8	1 ～ 6	課題 2A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
5	B	10.8	1 ～ 6	<p>6. 腋窩と鎖骨下の深層</p> <p>1)腋窩</p> <p>2)鎖骨の切断</p> <p>3)鎖骨下動・静脈 (教) pp.53-61</p> <p>7. 腹壁と腹部内臓の位置</p> <p>1)外腹斜筋</p> <p>2)内腹斜筋と腹横</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鎖骨下動・静脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・鎖骨と胸骨あるいは肩甲骨の連結について説明できる。 ・腋窩動・静脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・腕神経叢の構成と機能について説明できる。 ・肩甲骨前面にみられる筋の種類，走行，機能および神経支配について 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領</p>

				筋 3)腹直筋 4)腹部内臓 5)骨盤内臓 (教) pp.111-120 8. 前胸壁, 胸膜腔, 肺 1)胸腔を開く 2)前胸壁と胸膜 3)肺の観察 (教) pp.121-126 9. 顔の浅層と頸部の深層 1)表情筋と顔面神経 2)耳下腺 3)外頸動脈の枝と頭部の静脈 4)顎下三角とオトガイ下三角 (教) pp.227-234	説明できる。 ・腹壁を構成する筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・腹部内臓の種類と部位について説明できる。 ・骨盤内臓の種類と部位について説明できる。 ・前胸壁にみられる筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・前胸壁にみられる血管の種類と走行について説明できる。 ・縦隔にみられる神経, 脈管, 内臓について説明できる。 ・胸膜の分布について説明できる。 ・肺と気管支の位置と形態について説明できる。 ・顔面の表層において目印となる構造を明示できる。 ・表情筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・耳下腺の部位と形態, さらに耳下腺管の走行について説明できる。 ・耳下腺の神経支配について説明できる。 ・外頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・頭部の主要な静脈の種類と走行について説明できる。 ・顎下三角とオトガイ下三角をつくる筋の種類, 走行および神経支配について説明できる。		域の構造と機能
6	A B	10.15	1 ～ 6	第2回平常試験 第2回平常試験の解説	平常試験の解説によって, 実習内容の理解度の確認と習熟を図る。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能

							E-2-2)口腔領域の構造と機能
7	A	10.22	1 ～ 6	<p>10.縦隔と心臓の形態</p> <p>1)胸郭上口</p> <p>2)心膜腔の観察</p> <p>3)心臓の取出し</p> <p>4)心臓の形態と血管 (教) pp.127-133</p> <p>11. 腹部内臓の神経と血管</p> <p>1)腸管膜</p> <p>2)腹腔動脈</p> <p>3)下腸間膜動脈</p> <p>4)門脈系の解剖</p> <p>5)迷走神経 (教) pp.144-152</p> <p>12. 腹膜後器官</p> <p>1)腎臓, 副腎, 尿管</p> <p>2)腹大動脈・下大静脈</p> <p>3)総腸骨動・静脈 (教) pp.162-167</p> <p>13. 咀嚼筋と側頭下窩の領域</p> <p>1)咀嚼筋</p> <p>2)下顎管</p> <p>3)顎関節</p> <p>4)側頭下窩 (教) pp.235-240</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胸郭上口とその周囲の構造について説明できる。 ・心膜と種類と分布について説明できる。 ・心臓の位置と構造について説明できる。 ・網嚢の位置を明示できる。 ・腹膜腔の成り立ちについて説明できる。 ・腸間膜の構造について説明できる。 ・腹腔動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・上・下腸間膜動脈の走行について説明できる。 ・腹部内臓にみられる迷走神経の枝について説明できる。 ・門脈の位置, 構成および機能について説明できる。 ・腹膜後器官の種類について説明できる。 ・腹部にみられる神経叢の種類について説明できる。 ・腹大動脈とその枝の種類と走行について説明できる。 ・総腸骨動脈とその枝の種類と走行について説明できる。 ・下大静脈への血液の流れについて説明できる。 ・腎臓と副腎の位置, 構造および機能について説明できる。 ・咀嚼筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・咀嚼筋を被う筋膜の種類について説明できる。 ・下顎管の走行について説明できる。 ・下顎管内にみられる神経と血管について説明できる。 	<p>高橋 富久</p> <p>二宮 禎</p> <p>藤原 恭子</p> <p>大橋 晶子</p>	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>

					<ul style="list-style-type: none"> ・顎関節の構造と働きについて説明できる。 ・顎関節の靭帯の種類と走行について説明できる。 ・側頭下窩の構造について説明できる。 ・側頭下窩にみられる筋, 血管, 神経について説明できる。 		
7	B	10.22	1 ～ 6	課題 3B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
8	A	10.29	1 ～ 6	課題 3A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
8	B	10.29	1 ～ 6	10.縦隔と心臓の形態 1)胸郭上口 2)心膜腔の観察 3)心臓の取出し 4) 心臓の形態と血管 (教) pp.127-133	<ul style="list-style-type: none"> ・胸郭上口とその周囲の構造について説明できる。 ・心膜の種類と分布について説明できる。 ・心臓の位置と構造について説明できる。 ・網嚢の位置を明示できる。 ・腹膜腔の成り立ちについて説明で 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と

			<p>11. 腹部内臓の神経と血管</p> <p>1)腸管膜</p> <p>2)腹腔動脈</p> <p>3)下腸間膜動脈</p> <p>4)門脈系の解剖</p> <p>5)迷走神経</p> <p>(教) pp.144-152</p> <p>12. 腹膜後器官</p> <p>1)腎臓, 副腎, 尿管</p> <p>2)腹大動脈・下大静脈</p> <p>3)総腸骨動・静脈</p> <p>(教) pp.162-167</p> <p>13. 咀嚼筋と側頭下窩の領域</p> <p>1)咀嚼筋</p> <p>2)下顎管</p> <p>3)顎関節</p> <p>4)側頭下窩</p> <p>(教) pp.235-240</p>	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腸間膜の構造について説明できる。 ・腹腔動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・上・下腸間膜動脈の走行について説明できる。 ・腹部内臓にみられる迷走神経の枝について説明できる。 ・門脈の位置, 構成および機能について説明できる。 ・腹膜後器官の種類について説明できる。 ・腹部にみられる神経叢の種類について説明できる。 ・腹大動脈とその枝の種類と走行について説明できる。 ・総腸骨動脈とその枝の種類と走行について説明できる。 ・下大静脈への血液の流れについて説明できる。 ・腎臓と副腎の位置, 構成および機能について説明できる。 ・咀嚼筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・咀嚼筋を被う筋膜の種類について説明できる。 ・下顎管の走行について説明できる。 ・下顎管内にみられる神経と血管について説明できる。 ・顎関節の構造と働きについて説明できる。 ・顎関節の靭帯の種類と走行について説明できる。 ・側頭下窩の構造について説明できる。 ・側頭下窩にみられる筋, 血管, 神経について説明できる。 		<p>機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
9	A	11.5	<p>1 ～ 6</p> <p>14. 脳と脊髄の取り出し</p> <p>1)脊柱管の後壁</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脊柱管の位置について明示できる。 ・脊髄の構造と機能について説明できる。 	<p>高橋 富久</p> <p>二宮 禎</p> <p>藤原 恭子</p>	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p>

				<p>2) 脊髄神経節</p> <p>3) 脳・脊髄硬膜</p> <p>4) 脳と脊髄の取り出し</p> <p>5) 脊髄の解剖 (教) pp.179-187</p> <p>15. 内頭蓋底</p> <p>1) 脳神経</p> <p>2) 内頸動脈</p> <p>3) 中硬膜動脈</p> <p>4) 硬膜静脈洞</p> <p>5) 三叉神経節</p> <p>6) 下垂体 (教) pp.188-192</p> <p>16. 脳幹と小脳</p> <p>1) 第4脳室</p> <p>2) 菱形窩の観察</p> <p>3) 脳幹の区分</p> <p>4) 小脳 (教) pp.283-290</p>	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脊髄分節の種類とそれぞれの構造の違いについて説明できる。 ・ 脊椎神経の前根と後根について説明できる。 ・ 脊髄神経節の構造について説明できる。 ・ 馬尾神経の構成について説明できる。 ・ 脳と脊髄を被う髄膜の種類と機能について説明できる。 ・ 脳脊髄液の流路と機能について説明できる。 ・ 内頭蓋底における脳神経、内頸動脈、中硬膜動脈の断端の位置を明示できる。 ・ 硬膜静脈洞の種類について説明できる。 ・ 硬膜静脈洞と内頸静脈の関係について説明できる。 ・ 三叉神経節の位置と構造について説明できる。 ・ 下垂体の位置、構造および機能について説明できる。 ・ 脳を栄養する血管の種類と走行について説明できる。 ・ クモ膜顆粒の位置と機能について説明できる。 ・ 脳から出る脳神経の根を明示できる。 ・ 脳幹の位置を明示できる。 ・ 脳幹の構成と機能について説明できる。 ・ 第4脳室と菱形窩の位置と構造について説明できる。 ・ 小脳核の種類とそれぞれの位置について説明できる。 	大橋 晶子	<p>C-3-1) 身体の部位と方向用語</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p>
9	B	11.5	1 ～ 6	<p>課題 4B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-1) 身体の部位と方向用語</p>	

							語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能
10	A	11.12	1 ～ 6	課題 4A	・課題に関連した実習項目について説明できる。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能
10	B	11.12	1 ～ 6	14. 脳と脊髄の取り出し 1) 脊柱管の後壁 2) 脊髄神経節 3) 脳・脊髄硬膜 4) 脳と脊髄の取り出し 5) 脊髄の解剖 (教) pp.179-187 15. 内頭蓋底 1) 脳神経 2) 内頸動脈 3) 中硬膜動脈 4) 硬膜静脈洞 5) 三叉神経節 6) 下垂体 (教) pp.188-192 16. 脳幹と小脳 1) 第4脳室 2) 菱形窩の観察 3) 脳幹の区分 4) 小脳 (教) pp.283-290	・脊柱管の位置について明示できる。 ・脊髄の構造と機能について説明できる。 ・脊髄分節の種類とそれぞれの構造の違いについて説明できる。 ・脊椎神経の前根と後根について説明できる。 ・脊髄神経節の構造について説明できる。 ・馬尾神経の構成について説明できる。 ・脳と脊髄を被う髄膜の種類と機能について説明できる。 ・脳脊髄液の流路と機能について説明できる。 ・内頭蓋底における脳神経、内頸動脈、中硬膜動脈の断端の位置を明示できる。 ・硬膜静脈洞の種類について説明できる。 ・硬膜静脈洞と内頸静脈の関係について説明できる。 ・三叉神経節の位置と構造について説明できる。 ・下垂体の位置、構造および機能について説明できる。 ・脳を栄養する血管の種類と走行に	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能

					<p>ついて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クモ膜顆粒の位置と機能について説明できる。 ・脳から出る脳神経の根を明示できる。 ・脳幹の位置を明示できる。 ・脳幹の構成と機能について説明できる。 ・第4脳室と菱形窩の位置と構造について説明できる。 ・小脳核の種類とそれぞれの位置について説明できる。 		
11	A B	11.19	1 ～ 6	第3回平常試験 第3回平常試験の 解説	平常試験の解説によって、実習内容の理解度の確認と習熟を図る。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の 部位と方向用語 C-3-4)身体を 構成する組織 と器官 E-2-1)頭頸部 の基本構造と 機能 E-2-2)口腔領 域の構造と機 能
12	A	11.26	1 ～ 6	17. 頭部の切り離しと咽頭と喉頭 1)頭部の切り離し 2)咽頭後壁 3)咽頭と喉頭 (教) pp.241-251 18. 口と鼻と咽頭鼻部 1)頭部の正中断 2)口腔 3)舌 4)口蓋と咽頭鼻部 5)鼻中隔 6)鼻腔と副鼻腔 7)翼口蓋神経節 (教) pp.252-260 19. 腹部内臓	<ul style="list-style-type: none"> ・環椎と軸椎の連結について説明できる。 ・咽頭後壁にみられる神経の走行について説明できる。 ・咽頭後壁にみられる動脈の種類と走行について説明できる。 ・咽頭神経叢の位置と構成について説明できる。 ・咽頭筋の種類、走行、機能および神経支配について説明できる。 ・喉頭の位置、構造および機能について説明できる。 ・喉頭筋の種類、走行、機能および神経支配について説明できる。 ・口腔の構造について説明できる。 ・舌の形態について説明できる。 ・内・外舌筋の種類、走行、機能お 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を 構成する組織 と器官 E-2-1)頭頸部 の基本構造と 機能 E-2-2)口腔領 域の構造と機 能 C-3-1)身体の 部位と方向用語

				<p>1)肝臓と胆嚢 2)小腸と大腸 3)胃, 十二指腸 4)膵臓, 脾臓 (教) pp.153-161</p>	<p>よび神経支配について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舌の神経支配について説明できる。 ・口蓋と咽頭鼻部の構造について説明できる。 ・口蓋筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・鼻中隔の構造について説明できる。 ・鼻腔と副鼻腔の種類と構造について説明できる。 ・鼻腔にみられる神経と血管の走行について説明できる。 ・翼口蓋神経節の位置と機能について説明できる。 ・肝臓の構造と機能について説明できる。 ・肝臓にみられる間膜について説明できる。 ・胆嚢と位置, 形態および機能について説明できる。 ・肝内胆管と肝外胆管の関係について説明できる。 ・膵臓の構造と機能について説明できる。 ・膵管の種類と走行について説明できる。 ・胃の構造と機能について説明できる。 ・小腸と大腸の区分と構造について説明できる。 ・盲腸の位置と構造について説明できる。 ・脾臓の位置と構造について説明できる。 		
12	B	11.26	1 ～ 6	課題 5B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部

							の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
13	A	12.3	1 ～ 6	課題 5A	・課題に関連した実習項目について説明できる。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-2)口腔領域の構造と機能
13	B	12.3	1 ～ 6	17. 頭部の切り離しと咽頭と喉頭 1)頭部の切り離し 2)咽頭後壁 3)咽頭と喉頭 (教) pp.241-251 18. 口と鼻と咽頭鼻部 1)頭部の正中断 2)口腔 3)舌 4)口蓋と咽頭鼻部 5)鼻中隔 6)鼻腔と副鼻腔 7)翼口蓋神経節 (教) pp.252-260 19. 腹部内臓 1)肝臓と胆嚢 2)小腸と大腸 3)胃, 十二指腸 4)膵臓, 脾臓 (教) pp.153-161	・環椎と軸椎の連結について説明できる。 ・咽頭後壁にみられる神経の走行について説明できる。 ・咽頭後壁にみられる動脈の種類と走行について説明できる。 ・咽頭神経叢の位置と構成について説明できる。 ・咽頭筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・喉頭の位置, 構造および機能について説明できる。 ・喉頭筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・口腔の構造について説明できる。 ・舌の形態について説明できる。 ・内・外舌筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。 ・舌の神経支配について説明できる。 ・口蓋と咽頭鼻部の構造について説明できる。 ・口蓋筋の種類, 走行, 機能および神経支配について説明できる。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能

					<ul style="list-style-type: none"> ・鼻中隔の構造について説明できる。 ・鼻腔と副鼻腔の種類と構造について説明できる。 ・鼻腔にみられる神経と血管の走行について説明できる。 ・翼口蓋神経節の位置と機能について説明できる。 ・肝臓の構造と機能について説明できる。 ・肝臓にみられる間膜について説明できる。 ・胆嚢と位置, 形態および機能について説明できる。 ・肝内胆管と肝外胆管の関係について説明できる。 ・膵臓の構造と機能について説明できる。 ・膵管の種類と走行について説明できる。 ・胃の構造と機能について説明できる。 ・小腸と大腸の区分と構造について説明できる。 ・盲腸の位置と構造について説明できる。 ・脾臓の位置と構造について説明できる。 		
14	A	12.17	1 ～ 6	20. 眼と眼の付属器 1)眼窩の構造 2)眼の付属器 3)眼球の取出し 4)眼窩の内容 (教)pp.261-269 21. 耳と頭蓋底 1)外耳, 中耳, 内耳 2)翼口蓋窩 3)頸動脈管 4)耳神経節 5)舌下神経管	<ul style="list-style-type: none"> ・眼窩の構造について説明できる。 ・眼の付属器の種類と機能について説明できる。 ・眼球の運動に関与する筋の種類, 走行および神経支配について説明できる。 ・眼窩内の神経と血管の種類と走行について説明できる。 ・眼球壁の構造について説明できる。 ・毛様体神経節の位置と機能について説明できる。 ・涙腺の神経支配について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能

				<p>6)頸静脈孔 (教) pp.270-275</p> <p>22. 大脳皮質と第3脳室</p> <p>1)大脳の切半</p> <p>2)第3脳室</p> <p>3)脳回と脳溝</p> <p>4)嗅脳と辺縁皮質 (教) pp.291-296</p> <p>納棺</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外耳, 中耳, 内耳の構造について説明できる。 ・鼓膜の形態と機能について説明できる。 ・鼓室の構造と耳小骨の種類について説明できる。 ・翼口蓋窩の位置と構造について説明できる。 ・内頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・耳神経節の位置と機能について説明できる。 ・舌下神経の走行と機能について説明できる。 ・頸静脈孔を通る神経の種類と機能について説明できる。 ・第3脳室の位置と構造について説明できる。 ・大脳皮質の構造と機能について説明できる。 ・嗅脳と大脳辺縁系の位置と機能について説明できる。 ・心を込めて解剖させて頂いたご遺体の納棺を行い, 将来, 正しい倫理観を持った優秀な歯科医師になることを誓う。 		
14	B	12.17	1 ～ 6	課題 6B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
15	A	12.24	1 ～ 6	課題 6A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連した実習項目について説明できる。 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子	C-3-1)身体の部位と方向用語

						大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
15	B	12.24	1 ～ 6	<p>20. 眼と眼の付属器</p> <p>1)眼窩の構造</p> <p>2)眼の付属器</p> <p>3)眼球の取出し</p> <p>4)眼窩の内容 (教)pp.261-269</p> <p>21. 耳と頭蓋底</p> <p>1)外耳, 中耳, 内耳</p> <p>2)翼口蓋窩</p> <p>3)頸動脈管</p> <p>4)耳神経節</p> <p>5)舌下神経管</p> <p>6)頸静脈孔 (教) pp.270-275</p> <p>22. 大脳皮質と第3脳室</p> <p>1)大脳の切半</p> <p>2)第3脳室</p> <p>3)脳回と脳溝</p> <p>4)嗅脳と辺縁皮質 (教) pp.291-296</p> <p>納棺</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・眼窩の構造について説明できる。 ・眼の付属器の種類と機能について説明できる。 ・眼球の運動に関与する筋の種類, 走行および神経支配について説明できる。 ・眼窩内の神経と血管の種類と走行について説明できる。 ・眼球壁の構造について説明できる。 ・毛様体神経節の位置と機能について説明できる。 ・涙腺の神経支配について説明できる。 ・外耳, 中耳, 内耳の構造について説明できる。 ・鼓膜の形態と機能について説明できる。 ・鼓室の構造と耳小骨の種類について説明できる。 ・翼口蓋窩の位置と構造について説明できる。 ・内頸動脈の枝の種類と走行について説明できる。 ・耳神経節の位置と機能について説明できる。 ・舌下神経の走行と機能について説明できる。 ・頸静脈孔を通る神経の種類と機能について説明できる。 ・第3脳室の位置と構造について説明できる。 ・大脳皮質の構造と機能について説 	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能

				<p>明できる。</p> <ul style="list-style-type: none">・嗅脳と大脳辺縁系の位置と機能について説明できる。・心を込めて解剖させて頂いたご遺体の納棺を行い，将来，正しい倫理観を持った優秀な歯科医師になることを誓う。		
--	--	--	--	--	--	--